# 令和7年度　学校評価結果報告書

学校法人　日高学園
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、令和7年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直す良い機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。

この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## Ⅰ. 教育目標

＜目指す子ども達の姿＞
自主性を持って様々な活動に取り組み、感性豊かに感じ、考え、行動することを楽しむ。

目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の２点を常に意識して取り組みます。
①元気にのびのびと体を動かすことを楽しみ、素直で明るい心を育てること
②豊かな感性で気付く面白さ・考える楽しさ・行動できる充実感を繰り返し体験し学ぶことの意欲を育てること

子ども達が、安定した人間関係の中で生活や遊びを通して社会のルールや優しさと思いやりを身につけていけることを意識し、計画を立てて日常の保育に取り組みます。

## Ⅱ. 今年度の重点目標

●教育課程・指導計画の充実及び周知　●公開保育研修の実施・充実　●教職員の資質向上
●全体会議の活性化　●安全管理体制の強化

## Ⅲ. 取組み状況と今後の課題

| 自己評価項目 | | | | 取り組み状況 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 教育課程・指導計画の充実及び周知 | 教職員自身が日々の活動それぞれの意図や本質を考え、子どもたちの成長に即した指導計画へと応用していく。 | A | クラスの状況や子どもの成長段階に合わせて、指導計画の進め方や手立てをそのつど見直しながら保育にあたった。子ども一人ひとりの発達や興味・関心を踏まえ、活動のねらいや意図を意識した環境づくりや援助を行い、主体的に活動に取り組めるよう工夫した職員も多い。会議の場で保育の方針やねらいが明確に共有されることで、見通しを持って計画を立てやすくなり、日々の保育に落とし込みやすくなったという声も多く聞かれた。 |
| ２ | 公開保育の継続実施 | 他の教職員の指導方法から自身の保育を振り返り、互いに刺激し学び合う姿勢で取り組む。 | A | 園庭開放や合同保育、参観日などの機会を活用し、他の職員の言葉がけや対応の仕方を間近で見て学ぶ姿が見られた。良いと感じた点を自分の保育に取り入れながら、日々の保育を振り返る職員も多く、学び合う雰囲気が定着してきている。見学した後に感じたことを職員同士で話し合い、気づきを深める場面も増えてきた。教室に入っての参観に限らず、日常の様々な場面からも学びを得ようとする姿勢が広がっている。 |

# 令和7年度　学校評価結果報告書

学校法人　日高学園
聖ヶ岡幼稚園

| 自己評価項目 | | | | 取り組み状況 |
|---|---|---|---|---|
| ３ | 教職員の資質向上 | 教職員が視野を広げ知識を深めようとする姿勢を持ち、子ども達の興味や関心を引き出す工夫を行っていく。 | Ａ | 外部講師による研修や、年数回の研修、月1回の歌唱・ピアノ研修などを通じて、新しい知識や技術を身につける機会を積極的に活用した。学んだことを職員同士で話し合い、共有することで理解を深め合う姿も見られた。園長や先輩職員に相談しながら保育の進め方を一緒に考えたり、様々な事柄に興味を持って探究する姿勢も職員に根づいてきており、日々の実践にも生かされている。 |
| ４ | 全体会議の活性化 | 自らの意見に自信を持つとともに積極性を養い、他の教職員の考えも尊重して耳を傾けていく。 | Ｂ | 週1回の職員会議では、子どもの様子や保育についての考えを職員間で共有し、互いの意見に耳を傾けながら理解を深める時間となっている。それぞれの立場からの見方を比べることで、子どもの成長への気づきや、自身のステップアップにつながったという声も聞かれた。共有した内容を日々の保育やクラス運営に生かそうとする姿勢も見られ、職員間の連携が深まっている。 |
| ５ | 安全管理体制の強化 | 防災頭巾の取り扱いを周知徹底させるとともに、教室内外の危険個所の確認を定期的に行う。 | Ａ | 月1回を目安に避難訓練を継続して実施し、災害の種類に応じた職員の動きを確認し合った。子どもたちが自分で危険を予測して行動できる力を育てることを意識し、日常の保育の中でも安全への意識づけを行った。人手が限られる場面もある中、火災を想定した訓練を重ねることで、職員の誘導や対応の手順は着実にスムーズになってきている。 |

**【評価の基準】**

| | |
|---|---|
| Ａ | 十分達成されている |
| Ｂ | 達成されている |
| Ｃ | 取組まれているが、成果が十分でない |
| Ｄ | 取り組みが不十分である |

## Ⅳ. 次年度の取り組むべき課題

| | | |
|---|---|---|
| １ | 教育課程・指導計画の充実及び周知 | 子ども一人ひとりで異なる発達をより深く理解し、それぞれの成長に合わせた関わりにつなげたい。教育課程を実際に手に取って確認しながら話し合う機会も設けていく。 |
| ２ | 公開保育の実施・充実 | 職員体制や時間調整の難しさを踏まえつつ、年に一度は必ず実施できるよう工夫したい。若手職員の発想にも触れられる場とし、互いの良い点を伝え合っていく。 |
| ３ | 教職員の資質向上 | 自分で調べ、考え、試す経験を重ねられる研修機会を増やしたい。子どもの興味を引き出す言葉がけや伝え方の工夫も、クラスを越えて話し合っていく。 |
| ４ | 全体会議の活性化 | 会議を欠席した職員にも内容が確実に伝わる仕組みを整え、誰もが安心して発言できる雰囲気づくりを、園全体で進めていく。 |
| ５ | 安全管理体制の強化 | 職員自身が避難・防犯訓練を体験する機会を増やすとともに、地震や急病、不審者対応など様々な場面を想定した訓練を重ね、いざという時に慌てず動ける体制を整えていきたい。 |

# 令和7年度　学校評価結果報告書

学校法人　日高学園
聖ヶ岡幼稚園

## Ⅴ. 学校関係者の評価

いつも子どもたちを温かく見守って下さり、安全で楽しい毎日をつくって頂き本当にありがとうございます。今回の報告書を読ませていただき、先生方が普段の保育だけでなく、研修や会議などでも沢山の工夫や話し合いをしてくださっていることがよく分かりました。
以前、家で緊急地震速報のアラートが鳴った際、子どもがすぐさま机の下に避難した事がありました。日頃から避難訓練をしっかりしてくださっているおかげだと、とても感動しました。

来年度の目標にあるさらなる安全対策や先生方の協力体制など、より良い園を目指して取り組まれている姿勢には頭が下がる思いです。
これからもどうぞよろしくお願いします。

＜保護者＞

日々の保育の中で、先生方が子どもひとりひとりに目を向けてしっかりと対応してくださっている事を保護者としてとても嬉しく思います。また、公開保育や外部講師による研修など、保育の質の向上を努力してくださっている事がすごく伝わります。
子ども達の成長を支えるとても重要な幼児教育という分野では様々なタスクが必要かと思いますが、先生方の努力の上で成り立っているのだと感じます。

＜保護者＞

教育目標にかかげる、子ども達の遊びから喜び、そして感性豊かに育む活動をする。
日常の保育において
①元気にのびのび体を動かすことによる楽しみ・喜びから、素直で明るい心を育む。
②豊かな感性で、面白さ、考える楽しさ・行動できる充実感より意欲を育てる。
上記の目標の実現に向け、更なる教育目標に向かっていただきたく思います。

子ども達に対し大人は環境を育む責任があります。小さな輝く瞳と心には大きな「夢」があります。その大切な役割は、社会・家庭であり、良き幼稚園としての連携が必要となります。
聖ヶ岡幼稚園は、園長はじめ先生方のご尽力もあり研修に熱心に取り組まれ、コミュニケーションを通し、積極的に取り組まれています。教育面に対しても歌唱、ピアノ研修、外部講師による研修等を実施。
園の行事も、春の親子遠足、保育参観、七夕まつり、お泊り保育、工作展、運動会、英語・体操参観等を実施。未来あるこれからの子ども達に「夢」と「楽しい思い出」を残して頂きたく思います。

＜評議員＞

以上